

各 位

会 社 名：ウインテスト株式会社
(コード：6721 東証二部)
代表者名：代表取締役 姜 輝
問合せ先：専務取締役 樋口 真康
(TEL：045-317-7888)

先端半導体検査用高速ドライバSSDR4Gbps リリースのお知らせ

当社は、この度、新製品となる先端半導体検査用高速ドライバ「SSDR4Gbps」モジュールの開発を完了しリリースしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当社は決算開示等でお知らせしておりましたように、次世代ディスプレイ・ドライバIC検査装置を含む「次世代マルチプラットフォーム半導体検査装置」の開発を継続しておりますが、この度、その一部となります高速データ通信や先端ロジックデバイスを制御するための高速信号ドライバモジュールの開発を完了し、リリースを行なうこととなりましたのでお知らせいたします。

当該高速先端ロジックデバイス向けモジュールは当社が現在開発中の「次世代マルチプラットフォーム半導体検査装置」に向けて開発を行ったものですが、同時に2020年10月に開発を完了し、2021年2月より出荷を開始したディスプレイ・ドライバIC向け検査装置「WTS-577SR」へも搭載が可能です。よって、今後販売する「WTS-577SR」の標準機能として搭載し、「WTS-577SR」の最大駆動周波数は2Gbpsから4Gbpsとなります。また、お客様の既存検査装置のアップグレードも可能です。

【主な仕様】

◎4Gbps の高速ドライバ信号を生成します。(従来当社比2倍の高速ドライバ)

液晶や有機ELテレビの標準インタフェース規格であるP2Pを搭載するドライバICの検査をサポートします。テレビの4K、8K高精細化に伴い、テレビを駆動するドライバ信号も高速化となり、3.5Gbpsまで必要となります。「SSDR4Gbps」モジュールは、上記の高速化に対応します。

◎次世代規格MIPI C-PHYをサポートします。

スマートフォンの標準インタフェース規格であるMIPI従来のD-PHYだけでなく、次世代規格C-PHYもサポートします。

【販売開始予定】2022年3月

2. 今後の見通し

本件にともなう2022年12月期の当社業績に与える影響については、進捗状況に応じて適時かつ適切に開示してまいります。

以上